

新システムの業務機能要件は以下のとおりであり、これら機能は必須とする。

なお、特に記載のない機能であっても業務に有効と思われるものについては、提案書にて発注者に提案できるものとする。

(1) 共通機能

項目番	項目	概要
1	ログイン	システムへのログインをユーザ名及びパスワードによる認証で制御すること。
2	パスワード再発行	パスワードを失念した場合、利用者自身でパスワードの再発行を行えること。(例：ユーザのメールアドレスに対し再発行手続きのメールを送る)
3	多要素認証	メールアドレス等を利用した二段階認証を実装可能であること。 二段階認証の使用／不使用を切り替えできること。
4	入力補助	必ず入力しなければならない項目は「必須」等と表記することで明示すること。
5	代理入力	県職員の特定のアカウントからは市町村職員の操作が可能である等、代理入力可能なアカウントを設定できること。

(2) 災害名管理

項目番	項目	概要
1	基本機能	災害名を手動で作成し管理できること。 災害名ごとに各種情報を管理できること。
2	災害名の自動作成	気象警報等の受信を契機として、事前に設定した条件により災害名を自動で作成すること。 作成対象とする種別は気象・地震・火山・国民保護情報とする。 意図しない災害名作成を防ぐため、自動作成された災害名の対応が終結するまで、同じ種別の災害名が自動作成されないようにすること。(災害名の「対応中」と「終結」を手動で切り替えられること)
3	モード設定	「実災害」や「訓練」といった災害モードを設定できること。 選択している災害モードの種別が視認しやすいよう画面上の表現を工夫すること。 「実災害」：実際の災害時に使用するモード 「訓練」：操作訓練や防災訓練等で使用するモード (住民等への実配信は行わないモード)
4	災害名の選択	災害名の選択画面に、文字や日時の絞り込み機能を設けること。
5	一覧表示・出力	災害名を一覧で表示し、EXCEL等で出力できること。

(3) 本部設置管理

項目番	項目	概要
1	基本機能	本部設置状況を登録、更新できること。 体制の種別ごとに設置日時・解散日時を管理できること。
	本部の種別	種別は「災害対策本部」「災害特別警戒本部」「災害警戒本部」「その他」とし、「その他」の場合には任意の名称を設定できること。
2	関連情報の管理	本部ごとに庁舎のライフラインの状況や出動人員数、その他報告事項を管理できること。
3	一覧表示・出力	本部設置の履歴を一覧で表示し、EXCEL 等で出力できること。
4	公開	本部設置情報をレアラート、住民向けポータル、SNSへ公開できること。

(4) 避難所情報管理

項目番	項目	概要
1	基本機能	避難所の情報を登録、更新できること。 各避難所の開設状況や避難人数のほか、名称、住所、位置(緯度経度)、種別、指定区分(指定・臨時)、収容可能人数、災害種別等を管理できること。
2	関連情報の管理	避難者の性別や種別(乳幼児・高齢者等)毎の人数、ライフラインの状況、本部への要請等を管理できること。
3	入力	検索機能付きの一覧画面を設け、避難所の入力等が容易となるよう工夫すること。 複数避難所の開設状況、避難者数等を一括で入力できること。 事前にグループ分けした避難所を呼び出せること。
4	混雑状況	収容可能人数及び避難者数より、各避難所の混雑状況を自動計算し、一覧表示できること。 また、混雑状況を手動で入力できること。
5	表示・出力	避難所の開設状況、公開状況、避難者数等の一覧を表示し、EXCEL 等で出力できること。 また、地図上に開設状況・混雑状況を表示できること。
6	公開	避難所の開設状況、混雑状況等をレアラート、住民向けポータル、SNSへ公開できること。

項目番	項目	概要
7	マスタ管理	各避難所の名称、住所、位置(緯度経度)、種別、指定区分(指定・臨時)、収容可能人数、災害種別等を事前に登録できること。 避難所のグループ分けを登録できること。(川流域、山周辺地域等) EXCEL のインポートによる情報の一括登録ができること。 EXCEL で一覧を出力できること。

(5) 避難情報管理

項目番	項目	概要
1	基本機能	避難情報の発令状況等を登録、更新できること。 発令区域、人数、世帯数、発令理由、災害種別等を管理できること。
2	入力	避難情報の入力が容易となるよう、次の入力方法を設けること。 ・検索機能付き一覧画面からの入力 ・地図上からの入力 ・事前に登録したテンプレートからの入力
3	表示・出力	避難情報の発令区域、人数、世帯数等の一覧を表示し、EXCEL 等で出力できること。 また、発令状況を地図上に塗り分け表示できること。
4	公開	避難情報の発令状況等をアラート、住民向けポータル、SNSへ公開できること。
5	マスタ管理	発令区域、人数、世帯数、発令理由、災害種別等を事前に登録できること。 EXCEL のインポートによる情報の一括登録ができること。 EXCEL で一覧を出力できること。

(6) 避難発令判断支援

項目番	項目	概要
1	基本機能	事前に設定した条件により、しきい値等を超過した場合に特定のユーザに対しアラートを通知することで、発令判断を支援するもの。 (自動での発令は行わない)
2	設定可能要素	気象、火山、河川に係る各情報を OR 条件や AND 条件で複数組み合わせさせることができること。 また、アラートの通知内容に発令区域を地図表示すること。

(7) クロノロジー（時系列情報）

項目番号	項目	概要
1	基本機能	<p>時系列情報について、大まかな状況から詳細な状況をクロノロジーとして登録、更新できること。</p> <p>登録したクロノロジーには、自動で番号が付与されること。</p> <p>個別のクロノロジーに対する続報や対応内容を登録、更新できること。</p> <p>登録したクロノロジーを後から関連付けできること。</p>
2	関連情報の管理	<p>被害の詳細情報を数値で入力できること。</p> <p>詳細情報の入力欄は、普段は見えないように隠す等、画面の視認性を高める工夫をすること。</p>
3	入力	<p>場所を地図や住所検索から設定できること。（住所、緯度経度、UTM 座標）</p> <p>地図上に作図できること。</p> <p>ファイルを添付可能とし、画像ファイルはサムネイル表示できること。</p> <p>入力用のテンプレートを使用できること。</p> <p>EXCEL 等取り込みによる情報の一括登録ができること。</p>
4	表示・出力	<p>クロノロジーを個別に印刷できること。</p> <p>状況や対処内容の一覧を表示し、EXCEL 等で出力できること。</p> <p>一覧には検索機能を設け、情報の種類や任意の文字列で検索可能とすること。</p> <p>重要度や対応状況によって文字色等で強調表示できること。</p>

(8) 被害情報管理

項目番号	項目	概要
1	基本機能	<p>消防庁第4号様式(その2)で取り扱う情報を登録できること。</p> <p>システム内に登録されたこれら情報を集計表示できること。</p>
2	表示・出力	登録された情報を一覧表示し、EXCEL 等で出力できること。
3	公開	集計した情報を、消防庁被害情報収集ハブへ送信できること。

(9) 本部会議資料作成支援

項目番号	項目	概要
1	基本機能	本部会議等で使用する様式頭紙、避難所情報、避難情報、気象情報、クロノロジー、本部設置情報等を EXCEL 等で出力できること。 様式等については発注者と協議の上決定する。

項目番	項目	概要
2	表示・出力	出力できる情報は、毎正時時点の値を任意に呼び出せるものとする。

(10) 情報配信

項目番	項目	概要
1	基本機能	各配信先へ情報を配信できること。 配信先: Lアラート(消防庁被害情報収集ハブ)、緊急速報メール(Lアラート経由)、X(旧 Twitter)、住民向けポータル、本システムトップページ
2	テンプレート	配信内容のテンプレートを登録・更新できること。
3	緊急情報・お知らせ	住民向けポータル及び本システムトップページに、「お知らせ」、「緊急情報」を配信できること。 配信先を任意に選択できること。 文章内にリンクを表示できること。 添付ファイルを添付できること。 「緊急情報」には、事前に設定した気象情報や地震情報を受信した場合に自動で表示できること。
4	Lアラート (消防庁被害情報収集 ハブ)	システムへの入力と公開操作を二段階で別個に設ける場合は、公開状況を一覧で確認できること。 本部設置情報、避難所情報、避難情報、被害情報、広報お知らせ

(11) 地図機能 (GIS)

項目番	項目	概要
1	基本機能	背景地図上に、各種情報(気象情報、避難所情報、避難情報等)を選択してレイヤ表示できること。
2	背景地図	背景地図は、地理院地図及び OpenStreetMap 並びに GoogleMaps を設け、利用者が切り替えできること。
3	検索	住所や名称、座標値(緯度経度、度分秒、UTM 座標)で検索し、地点移動ができること。
4	情報の表示方法	塗り潰し表示やアイコン表示等、選択する情報の特性に応じ視認性の高い表現ができること。
5	取込みデータ	発注者等が提供する GIS データを取り込み表示できること。
6	印刷	指定範囲の印刷ができること。

(12) トップページ(初期画面)

項目番	項目	概要
1	基本機能	<p>県職員向けと市町村職員向けのトップページを用意すること。 もしくは、トップページをユーザーがカスタマイズできること。</p>
2	画面内容 (県職員向け)	<p>県内全体の情報を俯瞰で確認できる画面を用意すること。 具体的な画面内容は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> · GIS 画面を表示し情報をレイヤ表示できること。初期状態では、市町村の境界線を表示した県全体の地図を表示すること。 (気象情報、地震情報、本部設置、避難所情報、避難情報、被害情報等) · 県機関と市町村の情報を一覧で表示できること。 (本部設置、避難所情報、避難情報、被害情報、クロノロジー等) · 県内の避難所情報や避難情報に係る数値を表示できること。 (避難所情報: 避難所開設数や収容人数、混雑状況) (避難情報: 発令種別ごとの対総世帯数、人数) · 各種情報の入力操作とアラート公開操作を二段階に分ける場合、県機関や市町村単位の操作の進捗を一覧で確認できること。 · お知らせ · 緊急情報 · 関連サイトリンク
3	画面内容 (市町村職員向け)	<p>各市町村の情報を確認できる画面を用意すること。 具体的な画面内容は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> · GIS 画面を表示し情報をレイヤ表示できること。初期状態には各市町村を地図の中心に適度な縮尺で表示できること。 (本部設置、避難所情報、避難情報、クロノロジー等) · 各市町村の避難所情報や避難情報に係る数値を表示できること。 (避難所情報: 避難所開設数や収容人数、混雑状況) (避難情報: 発令種別ごとの対総世帯数、人数) · 各種情報の入力操作とアラート公開操作を二段階に分ける場合、当該市町村の操作の進捗を一覧で確認できること。 · クロノロジーの内容を一覧で表示できること。 · お知らせ · 緊急情報 · 関連サイトリンク

(13) 住民向け防災ポータルサイト

項目番	項目	概要
1	基本機能	住民向けの情報を表示するポータルサイトを構築すること。 サイトには、本システムにて公開、受信した情報を表示できること。
2	地図情報	各種情報を地図上にレイヤ表示できること。 選択された市町村を、地図の中心に適度な縮尺で表示できること。
3	緊急情報	本システムにて公開した情報を表示できること。 文章内にリンクを表示できること。 添付ファイルを添付できること。 事前に設定した気象情報や地震情報を受信した場合に自動で表示できること。
4	お知らせ	本システムにて公開した情報を表示できること。 文章内にリンクを表示できること。 添付ファイルを添付できること。
5	対応状況更新履歴	災害対応状況の公開履歴を表示できること。 最新から数件を表示し、一定期間経過後に表示が消えること。
6	公開文書フォルダ	本システムの公開文書フォルダで公開したデータを閲覧できること。 サイトに表示する項目をユーザーが変更できること。 項目例：災害対応状況 各種防災情報(防災学習、ミサイル発射時の対応)
7	避難情報	本システムにて公開した情報を表示できること。
8	避難所情報	本システムにて公開した情報を表示できること。
9	多言語対応	日本語のほか、英語、中国語(簡体、繁体)、韓国語等に対応すること。
10	関連サイトリンク集	本システムにて公開したリンクを表示できること。

(14) メール配信

項目番	項目	概要
1	基本機能	<p>気象警報等の受信を契機として、事前に設定した条件により職員参集メール及び気象メールを自動配信できること。</p> <p>また、ユーザーの特定のアカウントから手動で配信できること。</p>
2	職員参集メール	<ul style="list-style-type: none"> ・配信のトリガー <p>気象警報等、地震情報、火山情報、国民保護情報。 (各情報項目に応じて、設定したアドレス宛てメールを配信)</p> ・配信先について <p>県職員(1000名程度を想定)。</p> <p>メールアドレスを所属等でグループ分けできること。</p> <p>グループや個別のメールアドレスごとに配信設定できること。</p> ・メール本文への表示内容 <p>トリガーとなった気象警報等の内容。</p> <p>設置する県の体制(対策本部、警戒本部等)。</p> <p>参集対象の班番号。</p>
3	気象メール	<ul style="list-style-type: none"> ・配信のトリガー <p>気象警報等、地震情報、火山情報、国民保護情報。 (各情報項目に応じて、設定したアドレス宛てメールを配信)</p> ・配信先について <p>県職員(1000名程度を想定)。</p> <p>メールアドレスを所属等でグループ分けできること。</p> <p>グループや個別のメールアドレスごとに配信設定できること。</p> <p>グループや個別のメールアドレスに対して市町村を複数設定できること。</p> <p>受信した情報の対象市町村に応じて、配信先のグループや個別のメールアドレスを自動判定し、配信すること。</p> <p>(例: 盛岡市に大雨警報が発表 「盛岡市」が設定されたグループや個別のメールアドレスに対しメール配信)</p> ・メール本文への表示内容 <p>トリガーとなった気象警報等の内容。</p>
4	メールの受信端末	フィーチャーフォン、スマートフォン、パソコンでメールを受信し表示できること。

(15) 外部システム連携 (データ送信)

項目番号	項目	概要
1	住民向けポータルサイト	本システムから住民向けポータルサイトへの配信 住民向けポータルサイトは本業務にて整備
2	レアラート (消防庁被害情報収集ハブ)	本部設置情報、避難所情報、避難情報、被害情報、広報お知らせを配信。 (被害情報は消防庁ハブまでの配信とし、レアラートへは配信しない設定とする)
3	緊急速報メール	緊急速報メール(4社)への配信(レアラートの機能を利用)
4	X(旧Twitter)	岩手県防災課公式のXアカウントへの配信
5	内閣府総合防災情報システム (SOBO - WEB)	SOBO - WEBへの配信

(16) 外部システム連携 (データ受信)

項目番号	項目	概要
1	レアラート	国民保護情報
2	気象業務支援センター	気象情報 気象警報・注意報 記録的短時間大雨情報 地震情報 火山情報 津波情報 指定河川洪水予報 大雨警報(土砂災害)の危険度分布 大雨警報(浸水害)の危険度分布 洪水警報の危険度分布 気象庁では令和8年出水期より新たな防災気象情報の運用を開始する予定であるため、システム構築の際にに対応すること。
3	内閣府総合防災情報システム (SOBO - WEB)	道路情報等、SOBO - WEBから提供される情報項目
4	河川情報センター	雨量、河川水位(危機管理型水位計も含む)、カメラ画像